

令和2年4月7日



学校だより

4月号

子どもがいて、学校があります。

校長 青木 和裕

満開の桜を冷たい雨が打つ中、4月1日、令和2年度が始まりました。

二つ橋小学校では、82名の新1年生を迎え、4月6日、入学式を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を限定し、式次第の内容を精選して時間短縮に努め、児童の座席間の適切な距離を確保するなどの措置を講じました。本来なら、新1年生が手をつないで入退場したり、新2年生が歌や学校紹介で迎えたりと、子ども同士のほほえましい関わりややりとりがあったのですが、このような状況ですので、残念ながら控えさせていただきました。入学式を行うことができたこと、目がきらきらした喜びに満ちている新1年生を迎えることができたことが、何よりうれしいです。



4月7日、着任式・始業式、新2年生以上も新しい先生、友達と出会い、文字通り新年度がスタートしました。しかし、近隣で感染が拡大している地域もあることから、明日4月8日（水）より4月20日（月）まで、横浜市立学校は、また臨時休業となりました。4月21日（火）から無事学校が再開できるのか、予断を許さない状況です。未曾有の危機的状況の中、今はじっと耐え、感染拡大防止のために一人ひとりが自覚して行動することが求められています。臨時休業中は、保護者の就業その他の理由で家庭での対応が困難な場合、前回同様学校で緊急受け入れを実施します。各家庭におかれましても、重要でもなく、急ぎでもない外出は控え、早寝、早起き、バランスのよい食事、丁寧な手洗い・うがい、毎朝の検温、空気の入れ替え等を心がけて過ごしてください。よろしくお願いいたします。

3月19日（木）に行われた卒業証書授与式について、少しお伝えします。臨時休業中、久しぶりに登校してきた、そして小学校への最後の登校日となった6年生を門で迎えたとき、心が弾む、にこにこしてしまう、喜びに浸る自分がいました。子どもたちが登校して、友達や先生と学習したり遊んだりすること。今まで当たり前だと思っていたことが、こういう特殊な状況下になってみて、改めてかけがえのない大切な時間であったのだと再認識いたしました。一度の練習もない中、堂々と入場してきた6年生。迎えるのは、急きょ編成した教職員音楽隊の演奏による「威風堂々」。その入場する姿をただで、涙がこみ上げてきました。一人ひとりに卒業証書を渡し、「おめでとう。」の声かけに、「ありがとうございます。」と返す子、こっくりとうなずく子、にこっとほほえむ子、恥ずかしそうに照れ笑いを浮かべる子……。二つ橋小学校の顔であった、在校生を常に優しく導いてくれた6年生は、立派に巣立っていきました。新たなステージでのご活躍をお祈りしています。

先が見えない状況で、子どもたちはもちろん、保護者や地域の皆様にはご心配をおかけして申し訳ございません。当たり前の日常生活が、そして学校生活が返ってくる日まで、教職員は学校再開の準備を進めてまいります。今年度も、学校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。